

1年



わくわくランドでは1組は射的、缶つみ、フーセンリフティング、2組ではボーリング広場、輪投げ、的当てゲームの各ブースに分かれて、それぞれ担当を決めて接客、ゲームのやり方を説明したり、各ブースごと点数制にして記録したり、景品を渡したりと大人顔負けの対応の反面、点数を指で数える姿など微笑ましい姿が見られました。

1組、2組とも、お客さんを楽しませるためにはどうしたら良いかをみんなで考え、各ブース担当者の名札にひとこと書いたり、カラフルなボーリングのピンを作ったり、楽器を使ってその場を盛り上げたりするなど、お客さんの立場になって何回もリハーサルをし、試行錯誤を重ねました。どのブースも子どもたち一人一人が責任を持って行動している姿に頼もしさを感じ、楽しい時間を過ごすことができました。

2年



2年生のさかなつりゲームでは6チームに分かれ、それぞれのグループごとにルールを決めていました。あるグループでは「おとしより・子ども3分、しょうがくせい2分、おとな40びょう」とお年寄りのプレイ時間が長めに設定されていたのですが、これは子どもの方から自然に出た意見だそうです。こうしたところにも普段から地域の方々との触れ合いを大事にしている秋津小の教育が根付いているのだなあと感心しました。

3年



1組は射的と宝さがし、2組は体育館でストラックアウトを行いました。さすが3年生、どちらのクラスも出し物やルールは自分たちで決めたそうです。工夫したところを子どもたちに取材すると、宝さがしの宝（ペットボトル）を置く場所や地図をわかりやすくした、射的の景品の折り紙を難易度に合わせて何種類も作る、ストラックアウトの的をメダルで飾りつけた等細かく説明してくれました。皆が楽しめる祭りを目指してがんばったおかげで教室も体育館も大盛況でした。

5年ぶりだよ!!

秋津っ子まつり



「秋津のみんなが楽しめる祭りにする」をスローガンにかかげ、全て子ども達で考え、協力し作り上げた秋津っ子まつりが開催され、子どもも大人も大いに笑い、遊び充実した楽しい時間を過ごしました。

1組・2組では9つの各コーナーがあり、ゲームを楽しんだり手作りのおもちゃを作って楽しむ出し物をしました。手作りのパチンコで点数のついた紙コップに当てるゲームや、紙皿を切って円盤を作ったり、普段身近にあるごみの分別クイズなどもありました。他にもバターゴルフ、ビー玉スケート、尺取虫ゲーム、トランポリン、コップタワー、ビリヤードと、バラエティに富んでいて来ているお客さん達もとても楽しそうでした。スタンプラリー形式ですべて貯まると豪華景品プレゼント!と、最後まで楽しませてくれました。



4年

6年



1組はお化け屋敷をしました。6年生ともなるとパソコンを使って、いかに怖くするかを調べたり、マネキンをおどろおどろしく飾りつけたり、効果的な水の使い方など、企画・運営すべてをリーダーを中心にみんなで協力しあうチームワークの良さ、結果、時間いっぱいまで行列ができるという盛況ぶりでした。

2組は迷路クイズ。教室中に段ボールと新聞紙で迷路を作り、薄暗い道をポイントごとにクイズに答えて進むアトラクションで、当たりなら正しい道へ、間違うと違う道へと迷わされるなど工夫を凝らしていました。クイズの内容も学校に関するものなど、長く在籍している6年生らしい問題が多く見られました。



5年

1組はSASUKE風スポーツ広場。体育館の天井からロープを吊るして、マットや跳び箱、ネットやバスケットボールを使って障害物を何秒でクリアしていくかを競う高学年ならではの本格競技で盛り上がりました。ロープをどうやって使っていくか、いかに体育館の道具をたくさん使って本当のSASUKEに近づけるかを皆で考えて、楽しませてくれました。

2組は「当たるか当たらないかどっちなんだい!」と何とも興味をそそるタイトルで、問題用紙の色の写真のタイトルを探して、一文字ずつ吹き出しの文字を5文字集めて一つの言葉を作っていくゲームです。全て集めて言葉が出来上がった時のあの感動と言ったら・・・!非常に達成感のあるゲームで皆を喜ばせてくれました。手作りの商品制作や撮影した写真の掲示も頑張っていました。

赤とんぼ

第111号

平成26年11月14日

編集・発行

秋津小学校
PTA広報部

児童数

男子	155名
女子	156名
合計	311名

平成26年11月14日現在

水難救助法「ウイテマテ」!!

夏休みを前に水泳学習の一環として、各学年で着衣水泳が行われました。着衣水泳は着衣状態で浮いたり、移動したりする動作をさします。特に水難事故から命を守る着衣泳（着衣水泳）を「浮いて待て!命を守る着衣泳」と定義しています。浮いて待て!で呼吸ができると、救助の手が差し伸べられるまで生き続けることができます。無理して泳ぐ必要もなく、自分自身で長時間浮いて待つことができれば、救助される可能性が飛躍的に向上します。

「ウイテマテ」は自分の生命を自分で助ける「助かる救助法」です。子ども達は衣服の中に空気が入ることで自然に体が浮くことや、ペットボトルが「浮きの代わりになる」ことを実践し、救助者が主役の考え方から、救助される人が主役になる考え方を自ら体感することができました。



避難訓練・引き渡し訓練

東日本大震災から3年半が経ちました。

「震災は忘れた頃にやってくる」ではありませんが、8月には広島で起きた土砂災害でたくさんの尊い命が犠牲となりました。そんな中、秋津小では9月4日に地震を想定した避難訓練と引き渡し訓練が行われました。

1年生は初めての訓練でしたが、先生方の真剣な誘導に、慣れないながらも緊張感を持って避難をし、体育館にて保護者との再会を果たしました。毎年繰り返すことで子ども達だけでなく先生方、保護者の皆さんが速やかに行動、対応しているのを見て改めて避難訓練の必要性を感じました。

災害は最早「対岸の火事」ではなく、いつ自分や家族の身に振りかかるかわかりません。防災意識が薄れてきた今だからこそ、こうした活動を通じて今一度災害に対する意識を高めたいものです。



パートナー会議を知っていますか？



大活躍!! 吹奏楽部!

秋津小学校吹奏楽部は毎日早朝、放課後の練習に励んでいます。特に夏休みの練習はお盆を含めた2週間以外は毎日練習に励み、めきめきと上達してきました。去る7月27日に第56回千葉県吹奏楽コンクールに出場し見事に銀賞をもらいました。「プリマヴェーラ～美しき山の息吹～」を小学生の演奏とは思えないほどの調和のとれた奥深い音色で見事に表現しました。

また、8月24日には新習志野駅前で開催された「地域交流ふれあい盆踊り」でも演奏を披露し大きな拍手を頂いています。

現在楽器の老朽化で錆びたサクソやフレンチホルンの買い替えを検討していますが、資金不足により募金を呼び掛けています。子ども達の努力がより良い音色につながるよう、募金のご協力よろしくお願ひします。秋津小学校で随時受け付けています。



頑張ってます バレー部!

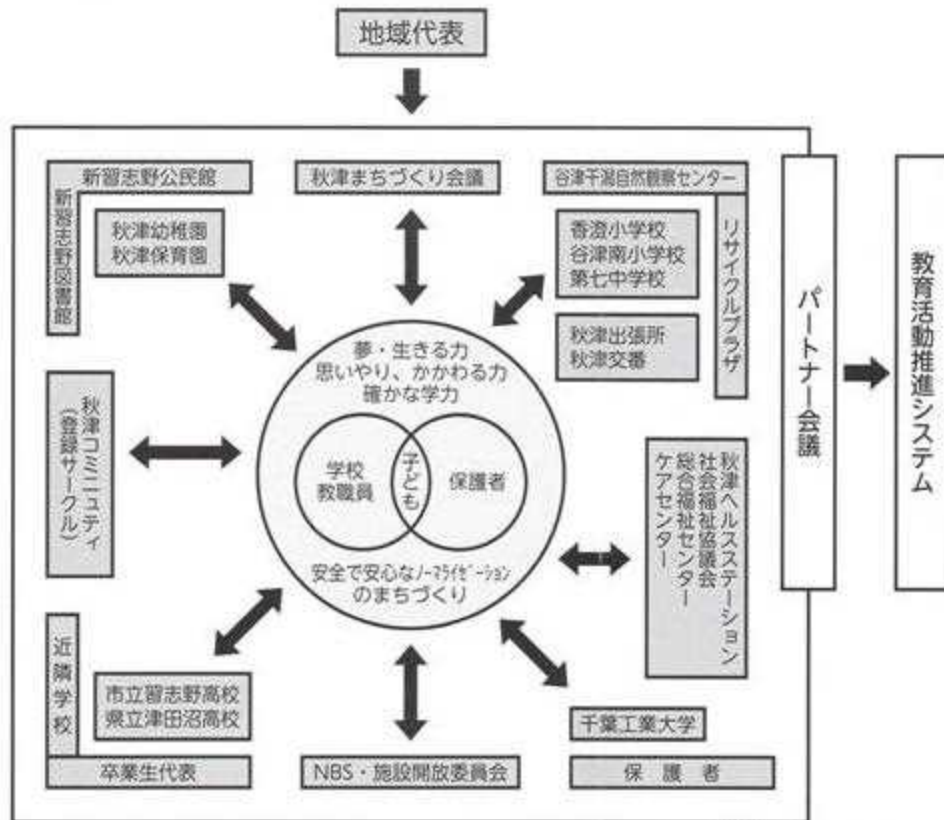
皆さんこんにちは。秋津小PTAバレー部です。昨年の4月に発足してから早いもので1年5ヶ月が経ちました。暑い日も寒い日も雨の日も、練習で汗を流し、がんばっています。昨年度は習志野市のPTA親善バレーボール大会にて3位に入賞し、それから一人一人日々上達し、部員達の絆も深まり、毎日楽しく、また真剣に練習してきました。

今後も一歩一歩前進し、さらに上位を目指して努力していきます。応援してくれた方、会場に駆けつけてくれた方、本当にありがとうございます。

今年度の6年生のお母さん達3名は卒業しますが、新入部員は随時募集しています。初心者の方も大歓迎です！これからもPTAバレーボール部をよろしくお願いいたします。

秋津小体育館
毎週水曜日 19～21時、第1・3・5土曜日 13～15時

会議の目的 学校教職員・地域住民・保護者が集まりそれぞれの活動の情報交換や共有の場であり、地域のニーズを学校運営に生かす秋津小ならではの会議です。



学校と地域はパートナー 教師と保護者もパートナー



パートナー会議の様子

子ども達をとりまく地域との関わりは多種多様です。谷津干潟自然観察センターでは環境について、福祉ゾーンの諸施設では福祉を学び、近隣学校では、将来教員を目指す生徒のボランティアを受け入れ、夏休みに算数を教えてもらったり、千葉工業大学とは地域清掃活動グリーンウォーク等が記憶に新しいですね。

公民館では幼児室の遊び場の開放や、夏休みには体験講座、図書館では月2回のお話会など、何気ない日常の中で多くの地域の人達にふれあい、日々、貴重な経験や学びをしています。

取材をとおして感じたこと 会議に出席して感じたことは、会議で話し合われている内容は、PTA 役員会などで取り上げられている学校教育についての連絡や報告、協議です。コミュニティースクールとしての秋津小学校の教育活動は、パートナー会議という保護者や地域の方々との話し合いで推進されているのだと実感しました。本当に秋津小は地域の方々を支えられて成り立っているんだなということを感じました。これを機にこれからは、「できる人が できる時に 無理なく 楽しく」積極的に参加していこうと思いました。

環境支援システム【環境ボランティア】

1. 「クリーン&グリーン運動」
 - ①校庭や周辺歩道のごみ、空き缶や草むしり等を定期的に行う
 - ②ロータリーや校庭の花壇に花を植える
 - ③「クリーン作業」年2回親子で清掃作業
2. 自然環境整備プロジェクト
 - ①ピオトープ（自然観察園）の維持管理
 - ②稲作支援、生態系整備
 - ③菜園の整備、維持管理
 - ④稲刈りプロジェクト
 - ⑤プレイグランド整備プロジェクト
 - ⑥遊具の維持管理、新設



「子ども達と一緒にごみ拾いをしてボー捨てをしない大人になって欲しいと思います。」子ども達に思いを寄せて接して下さっています。



学習支援システム【学びボランティア】

1. 「授業への参加と支援」
 - ①各教科の授業支援②クラブ活動の参加支援
 - ③生活科・総合的な学習の時間の支援
 - ④英語活動の支援⑤人間だいたずきふれあい活動の充実
 - ⑥読書活動・読み聞かせ・ブックトークの特別支援
2. 「行事への参加と支援」
 - ①秋津まつり
 - ②秋津小学校と地域の大運動会
 - ③マラソン大会
 - ④音楽活動
 - ⑤なかよし給食 等
3. 夏休みラジオ体操の支援
4. 「秋津・地域で遊ぼう!」等



クラブ活動やばか面踊り、米作り、英語活動、ソーラン節踊り、本の読み聞かせ、なかよし給食など授業での関わりは多く、多岐にわたっています。大きな行事としては、秋津ならではの「小学校と地域の大運動会」など、各学年それぞれ関わりがあります。

安全支援システム【安全ボランティア】

1. 「子どもの安全を守る網の目シフト作戦」
 - ①登校指導
 - ②校内安全（不審者対策）活動
 - ③交通安全活動
 - ④子ども110番（地域の安全マップ）
 - ⑤パトロール活動
 - PTA
 - 青少年健全育成連絡協議会
2. 非常災害防災システムの確立
 - ①防災マップの作成 等



朝は部活動の子どもに合わせて7時過ぎから年間200日、雨の日も風の日も見守って下さっています。ボランティアの方の高齢化がすすみ、担い手が少ないことが現在課題になっています。



情報支援システム【情報ボランティア】

1. 広報紙作成・配布システム
 - ①「地域のかぜ、学校のかぜ」の作成・配布
 - ②学校支援ボランティアの募集用紙の配布
 - ③ポスター（クリーン&グリーン）作成・掲示
2. 校内IT関係の支援
 - ①パソコンを活用した学習支援
 - ②ホームページ更新支援
 - ③パソコン研修の支援 等



学校のホームページには、行事ごとの子ども達の様子やパートナー会議での内容も載っています。「地域のかぜ、学校のかぜ」という広報紙を作成しています。



長い時をかけて作り上げてきた地域との強い絆と関わりが興味深い本です。ぜひ、読んでみてください。

